

CONCIERGE

by Mochimaru shokuhin Co.,Ltd. 17/July/2012/vol.205



雲南省産 松茸入荷 *Matsutake mushrooms from Yunnan arrived*

中国産の松茸が日本向けに出荷されるようになったのは今から凡そ30年前、当時は中国国内での輸送が悪く日本に到着する頃には販売できない商品が多くありました。また、今から12年前には基準値を超える農薬が検出されたこともありましたが、その後には中国政府が、農家と流通業者の取扱資格制度を導入し収穫から輸出までのトレーサビリティ追跡の仕組みも作られました。更に資源枯渇の防止のために収穫マニュアルなども策定しています。今では、中国内の保管や輸送と日本での検疫と通関作業も確立され素晴らしい品質の松茸が日本へ届くようになりました。すでに7月の初旬はチベットにほど近い雲南省からの出荷が始まっています。やがて四川省の出荷も始まり、更にチベット、吉林省などの産地出荷が重なり9月、10月の本格的なシーズンに向けて出荷産地が出揃ってきます。日本の松茸は主に赤松と針葉樹林の混合林に生えますが、中国の雲南、四川省では常用樹木に生えるのも興味深いところです。松茸の人工栽培の研究は、長年続けられていますが成功例が無く、まだまだ自然の恵みに期待をし、季節を待つしか無い商品です。日本人が松茸を食べ始めたのは縄文、弥生の時代に遡るといわれ日本人が特段に松茸をこよなく愛するDNAは、長い歴史の中で育まれたものかも知れませんね。愛すべき今年のシーズンも幕が開きました。ご利用をお待ちしております。